

勝山市総合行政審議会（第11期第3回）結果概要

開催日時 平成22年2月9日（火） 午後7時00分～午後9時00分

開催場所 教育会館 1階 勝山公民館第1会議室

出席者等 出席委員 10名
事務局 企画財政部未来創造課

1 会長あいさつ

2 審議

(1) 平成20年度勝山市政策基本目標管理外部評価について

2. 少子・長寿化等に対応した人にやさしいまちづくり
3. 産業とまちのにぎわいなど若者に魅力あるまちづくり

事務局 項目、評価について詳細説明

委員

- ・市民ウォーキングの目標人数150人に対し、参加人数70人では半分以下。評価3は甘い。早朝ウォーキングに取り組む市民が増えたところがあるが、少し辛めの評価にしてもよい。

委員

- ・市民が参加する機会が2回から1回に減り、目標人数の150人が70人になっているので、最低限の評価があったとは言えない。

委員

- ・10月開催では、地区の文化祭と重なってしまうので、参加人数が少なくなる。

委員

- ・この項目の目標は、健康づくり運動の推進。早朝ウォーキングの参加者が増えたということは、成果につながる。ただし、機会を減らしているので、評価は3でいい。目標設定は考え直すべき。

委員

- ・ウォーキングに取り組む人が増えたことは、健康づくり運動の推進につながっているが、目標に数値を掲げている以上、それに対する評価をするしかない。2という辛口の評価でいい。

委員

- ・自立支援は施設、行政、地域住民が一体となってやっっていかなばならない。自立支援に向けた市民意識の高揚を図る必要がある。評価が5というのはどうか。

委員

- ・自立支援体制は、簡単にできるものではないが、先進的と評価されたことの中身は何か。グループホームまで到達するのは大変だったと思う。

事務局

- ・市民意識の高揚のためには、啓発が大切なことは十分認識しているので、今後の課題としたい。自立支援協議会は奥越圏域を1本にし、障害者の就労や自立について総合的に支援している。この取組みが先進的であると県全体で評価された。

委員

- ・福祉バスを1台増加したことは、福祉バスの充実という目標を十分達成しているので、評価

は5でもいい。

委員

・福祉バス利用の需要はあるのか。車両を充実させても、需要がないのでは意味がない。

委員

・ボランティアで使いたい時に申し込んでも、予約がいっぱいで取れないこともある。今回1台増ということで成果として評価はできるが、もう1台必要なくらい需要はある。
・運用の仕方に問題がある。利用しようと思うと、学校、教育委員会を通さないといけない。ボランティア団体が使えるようにしてほしい。

事務局

・平成21年度のダイナゴンの実績は、4～12月の平日のみで64件の利用があった。

委員

・認定子ども園が進展していない。

委員

・消費者保護の推進について、多重債務の防止に努めたこと及び講座開催増等が生活相談件数の減少につながったのか。

委員

・ここでの目的は多重債務の防止。そのために生活相談等を行っている。

委員

・勝山型農業は白ネギのことだけか。

事務局

・勝山の風土、環境に根ざした農業を振興していこうというのが勝山型農業の考え方である。平成20年度においては白ネギの生産拡大を目標にした。
平成21、22年度においては持続可能な農業を目指し、新たに環境に配慮した循環型農業を進めている。

委員

・林道管理マニュアルが策定されたが、それを周知徹底させることが必要。負担割合が決まったということは画期的なことである。

委員

・企業誘致については、関係機関との連携が必要である。また、新たに異業種交流の展開も期待する。商工農が連携していかないと新しい産業は生まれない。

委員

・雇用対策の推進について、がんばる企業展の開催だけが目標でいいのか。目標設定を考え直すべき。また、人材と企業の橋渡しによる雇用対策を推進して欲しい。

委員

・「マイワーク勝山」ができたというものの、ハローワークがなくなり、全体的には衰退した感がある。

委員

・観光振興は入り込み客だけではない。経済効果につながらなければならない。そのような振興策を考えて進めていただきたい。

委員

・観光振興については、点から線に変えていこうとする活動が活発になってきている。先を見据えた事業展開をお願いしたい。目標値にいかに近づいたかが大切である。

委員

・市が観光政策に重点をおいているのは理解できる。異業種連携を視野に入れ事業展開を図っ

ていただきたい。

委員

・まちの駅の取り組みに温度差がある。加盟店がお互いに接客等を勉強していくとよい。

委員

・まちの駅が機能していないとイメージダウンにつながるので、今後努力していく必要がある。

事務局

・まちの駅に関しては、発展途上の段階。観光振興の一役を担えるよう改善していきたい。

委員

・農林業の項目はあるが、水産業の項目がない。水産業にも力を入れていただきたい。

事務局

・評価の目標設定のあいまいさについては、委員のご意見をしっかり受け止め今後改善していく。

以上